

経済科学研究科 修士論文・博士論文ルーブリック

DPとの関係	評価項目	評価指標					得点
		5点	4点	3点	2点	1点	
DP1	主体性	論文作成に十分主体的に取り組んでいる。	論文作成に概ね主体的に取り組んでいる。	論文作成にある程度、主体的に取り組んでいる。	論文作成にあまり主体的に取り組んでいない。	論文作成に主体的に取り組んでいない。	
	研究テーマ	現代の経済社会や情報社会と十分関連した適切な研究テーマが設定されている。	現代の経済社会や情報社会と概ね関連した研究テーマが設定されている。	現代の経済社会や情報社会とある程度、関連した研究テーマが設定されている。	現代の経済社会や情報社会とあまり関連しない研究テーマが設定されている。	現代の経済社会や情報社会と関連しない研究テーマが設定されている。	
	形式	分量、体裁、引用方法など、論文として認められる形式を十分満たしている。	分量、体裁、引用方法など、論文として認められる形式を概ね満たしている。	分量、体裁、引用方法など、論文として認められる形式をある程度、満たしている。	分量、体裁、引用方法など、論文として認められる形式をあまり満たしていない。	分量、体裁、引用方法など、論文として認められる形式を満たしていない。	
	研究倫理面の配慮	研究倫理面での配慮が十分なされている。	研究倫理面での配慮が概ね、なされている。	研究倫理面での配慮がある程度、なされている。	研究倫理面での配慮があまりなされていない。	研究倫理面での配慮がなされていない。	
	研究方法	最新の経済理論または最新のシステム科学・情報科学の、またはそれらを適用した研究が十分実践されている。	最新の経済理論または最新のシステム科学・情報科学の、またはそれらを適用した研究が概ね、実践されている。	最新の経済理論または最新のシステム科学・情報科学の、またはそれらを適用した研究がある程度、実践されている。	最新の経済理論または最新のシステム科学・情報科学の、またはそれらを適用した研究があまり実践されていない。	最新の経済理論または最新のシステム科学・情報科学の、またはそれらを適用した研究が実践されていない。	
	論理性・一貫性	論理的展開が十分適切に行われている（結論が究めて明確に提示されている）。	論理的展開が概ね適切に行われている（結論が概ね明確に提示されている）。	論理的展開がある程度、適切に行われている（結論がある程度、明確に提示されている）。	論理的展開があまり適切に行われていない（結論があまり明確に提示されていない）。	論理的展開が適切に行われていない（結論が明確に提示されていない）。	
DP2	新規性・独自性	研究テーマや研究方法に十分な新規性・独自性が認められる。	研究テーマや研究方法に概ね新規性・独自性が認められる。	研究テーマや研究方法にある程度の新規性・独自性が認められる。	研究テーマや研究方法にあまり新規性・独自性が認められない。	研究テーマや研究方法に新規性・独自性が認められない。	
	学術上の寄与	研究テーマ、研究方法や研究成果に十分な学術上の寄与が認められる。	研究テーマ、研究方法や研究成果に概ね学術上の寄与が認められる。	研究テーマ、研究方法や研究成果にある程度の学術上の寄与が認められる。	研究テーマ、研究方法や研究成果にあまり学術上の寄与が認められない。	研究テーマ、研究方法や研究成果に学術上の寄与が認められない。	